

特集

天空の聖地 高野山

高野山は、2014年
世界遺産登録10周年、
そして2015年4月
開創1200年を迎えます

空海が高野山に真言密教の
本山寺院をおいたことは甚だ
重要である。

奈良仏教は、東大寺や興
福寺のように本山寺院が都会
にある仏教である。平安仏教
は、最澄の天台宗にせよ、空
海の真言宗にせよ、本山寺
院を鬱蒼たる山の頂上におく
が、それによって日本仏教の
性格が変わる。なぜなら、日
本の山には古くから神々が住
みついており、そのような山
に仏教の本山寺院がおかれる
ことにより神仏習合が成立し
たからである。

特に空海が、都における
真言密教の拠点、東寺をも
ちながら、本山寺院を高野
山におき、高野山奥之院で
入定しているのは、彼がいかに
深く森を愛したかを示し
ている。また、奈良時代の
大寺の本尊の多くは金銅仏
であるが、空海の建立した
寺の本尊の多くは木彫仏で
ある。真言密教は森の仏教
であるといえる。

日本は森の国であり、今
後も日本は森の国としてあ
り続けなければならない。

梅原
猛

うめはらたけし
1925年、仙台市生まれ。京都大学文学部哲学科卒。現在国際日本文化研究センター顧問。
1999年文化勲章受章。二期にわたる『梅原猛著作集』が刊行され、縄文時代から近代までを視
野に収め、文学・歴史・宗教等を包括して日本文化の深層を解明する幾多の論考は(梅原日本学)
とよばれる。



吉祥宝来(きっしょうほうらい)

宝来とは1200年前に空海が唐で習得し、弟子
たちに手法を伝授した縁起物(吉祥)の“切り絵”。
葉のない高野山でしめ縄の代わりに飾るようにな
ったと言われている。宝船や干支など数種類の
図柄があり、表紙の“如意宝珠”は仏教において
様々な霊験を表す宝の珠。